

世界はつながっている

中野 理恵

本作の舞台は数十年に渡り内戦が続くコンゴ。邦題の〈ムクウェゲ〉とは、本作の登場人物で、隣国ルワンダとの国境に近いブカブにある、パンジ病院のデニ・ムクウェゲ医師(66歳)のことである。ムクウェゲ医師は、出産の危険を減らしたいと思い医師を目指したそうなのだが、現実とは大きく異なっていた。何と、最初の患者はレイプされて望まない妊娠をした女性の治療だったのである。以後数十年に渡り、同じような被害に遭った女性たちの治療に専心している。治療対象の女性の年齢は6ヵ月の赤ちゃんから90歳代の老人まで、年間2,500人から3,000人もの女性である。耳を疑ってしまった。

コンゴでは、40万人以上もの女性がレイプされているとのことだ。妊娠中だったマリ(25歳)はふたりにレイプされ、お腹の子を死産し、夫は彼女を〈穢れている〉と別居してしまった。21歳のアルフォンシーヌは家族全員を殺され、5年以上武装勢力に捕らわれてレイプされ続けた。16歳のエステールは、クリスマスの夜、コンサートからの帰り道で複数の男性にレイプされ妊娠し、5ヵ月で流産した体験を語る。一方、妻と3人の子どものいるマオンビは、兵士にさせられ女性をレイプして殺すように命じられた、と淡々と語る。200人以上をレイプした男性ムカンバがカメラの前で体験を語る表情も、やはり淡々としている。耳を覆いたくなるような事実の連続だ。被害に遭った女性は身心共に深いキズを負う。

レイプは性的欲望を満たすのが目的ではなく、住民と、被害に遭った女性の夫や家族に深刻な屈辱とトラウマを与えることにより、住民を支配するための武器だ、とも語られる。ムクウェゲ医師はそのような女性たちを無償で治療してきた。長年



©TBS テレビ

の行為を評価され2018年にノーベル平和賞を授与されている。が、武装勢力から命を狙われるようになったため、現在はパンジ病院の敷地内で、PKO部隊に24時間守られながら暮らしているのだ。

武装勢力の支配の目的はコンゴの豊かな鉱物資源である。「コンゴは窓もドアもない、警備員もない宝石店のようなものだ。宝石を略奪し、殺人やレイプを犯し、罰を受けずに出てゆく」「スマホはコンゴ人の血で汚れている。広島原爆のウランはコンゴで採掘された」「コンゴはレアメタルの埋蔵量が世界一なのに、輸出額は世界一ではない」「豊富な資源があるのに、人々は貧困の中で生きている」、そして、「政府に責任がある」「そのような状態を容認してきた国際社会の責任も大きい」と指摘し、「世界はつながっている、この現実を目を背けないで欲しい」、と願う医師。そして、護身のために空手の訓練を受け、自立のために手に職をつける女性たち。

何度見続けるのをやめようと思ったことか。だが、見終わって、本作を製作し街の映画館で広く公開する決断をした方々に、深く敬意を表したい思いが湧いてきた。

《Cinema Information》

『ムクウェゲ「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師』

日本映画(75分)/監督:立山芽以子/3月4日より
新宿シネマカリテほか全国順次公開

なかのりえ:映画プロデューサー、ディストリビューター。
(株)パンドラ代表。『ハーヴェイ・ミルク』を第1回配給作品として、これまでに100本を超える映画を配給し、視覚障がい者のための副音声付商業劇場上映を日本で初めて実現。著書に『すきな映画を仕事にして』(現代書館,2018)等。